

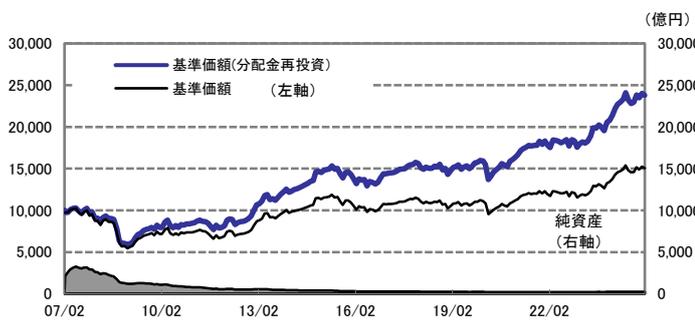


運用実績

2025年1月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 15,058 円

※分配金控除後

純資産総額 234.7億円

騰落率

期間	ファンド
1か月	-1.0%
3か月	-0.1%
6か月	2.7%
1年	11.2%
3年	33.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 138.0%

設定来=2007年2月21日以降

○信託設定日
2007年2月21日

○信託期間
無期限

○決算日
原則1月、3月、5月、7月、9月、11月の各20日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

○ご購入価額
ご購入申込日の翌営業日の基準価額

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

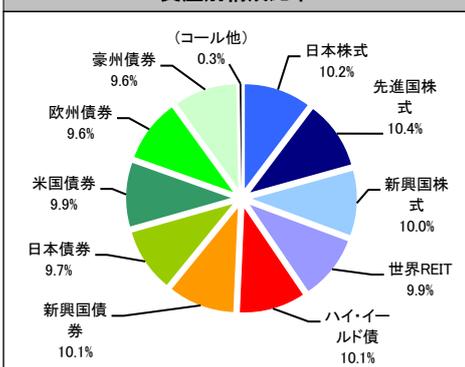
2024年3月	2024年5月	2024年7月	2024年9月	2024年11月	2025年1月	設定来累計
40 円	40 円	4,410 円				

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

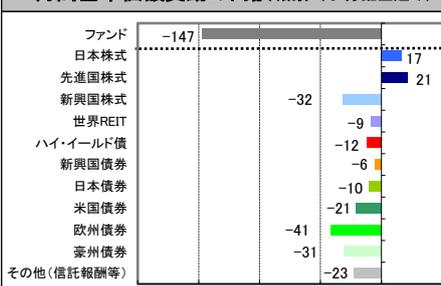
資産内容の概況(投資対象資産別)

2025年1月31日 現在

資産別構成比率

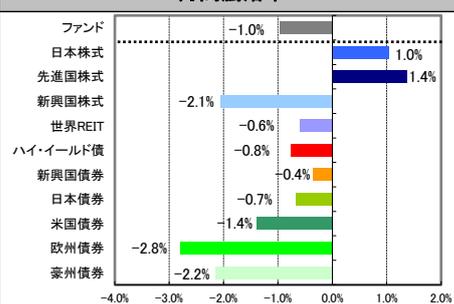


月間基準価額変動の内訳(概算・円・分配金込み)



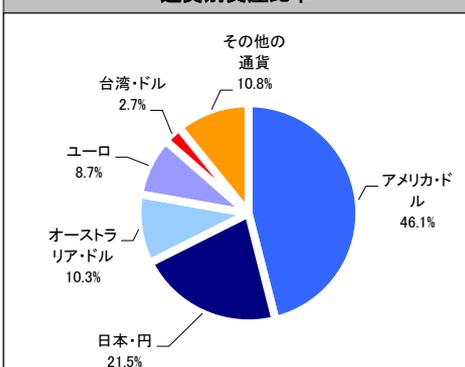
・投資対象資産別の基準価額変動は、原則各投資対象資産に属するマザーファンドの基準価額の月間騰落率と、当ファンドが保有するマザーファンドの組入比率から算出しています。

月間騰落率



・投資対象資産別の月間騰落率は、各投資対象資産に属するマザーファンドの基準価額の月間騰落率から算出しています。

通貨別資産比率

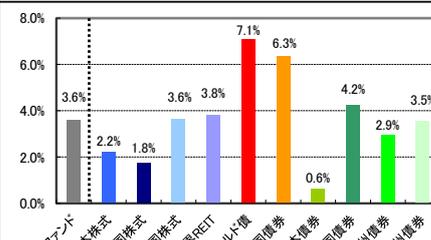


国・地域別資産比率

国・地域	純資産比
アメリカ	34.0%
日本	20.0%
オーストラリア	9.2%
台湾	2.7%
イギリス	2.4%
その他の国・地域	30.6%
その他の資産	3.5%
合計(※)	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

株式配当利回り/債券直接利回り



・ファンドの利回りは、各投資対象資産の利回りを、その組入比率で加重平均したものです。各投資対象資産の利回りは、各投資対象資産に属するマザーファンドの組入銘柄の利回り(現地通貨建・課税前・実績ベース、日本株式は各種情報を基にした当社推計)を、その組入比率で加重平均したものです。

日本株式:「ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド」 先進国株式:「グローバル・エクイティ(除く日本)・マザーファンド」 新興国株式:「ノムラ・アカディアン新興国株ファンド マザーファンド」
世界REIT:「ノムラ・ワールドREITマザーファンド」 ハイ・イールド債:「野村米国好利回り社債投信 マザーファンド」 新興国債券:「野村エマージング債券マザーファンド」 日本債券:「ノムラ日本債券オープン マザーファンド」
米国債券:「ノムラ・ブラックロック米国債券オープン マザーファンド」 欧州債券:「ノムラ・インサイト欧州債券 マザーファンド」 豪州債券:「野村豪州債券ファンド マザーファンド」

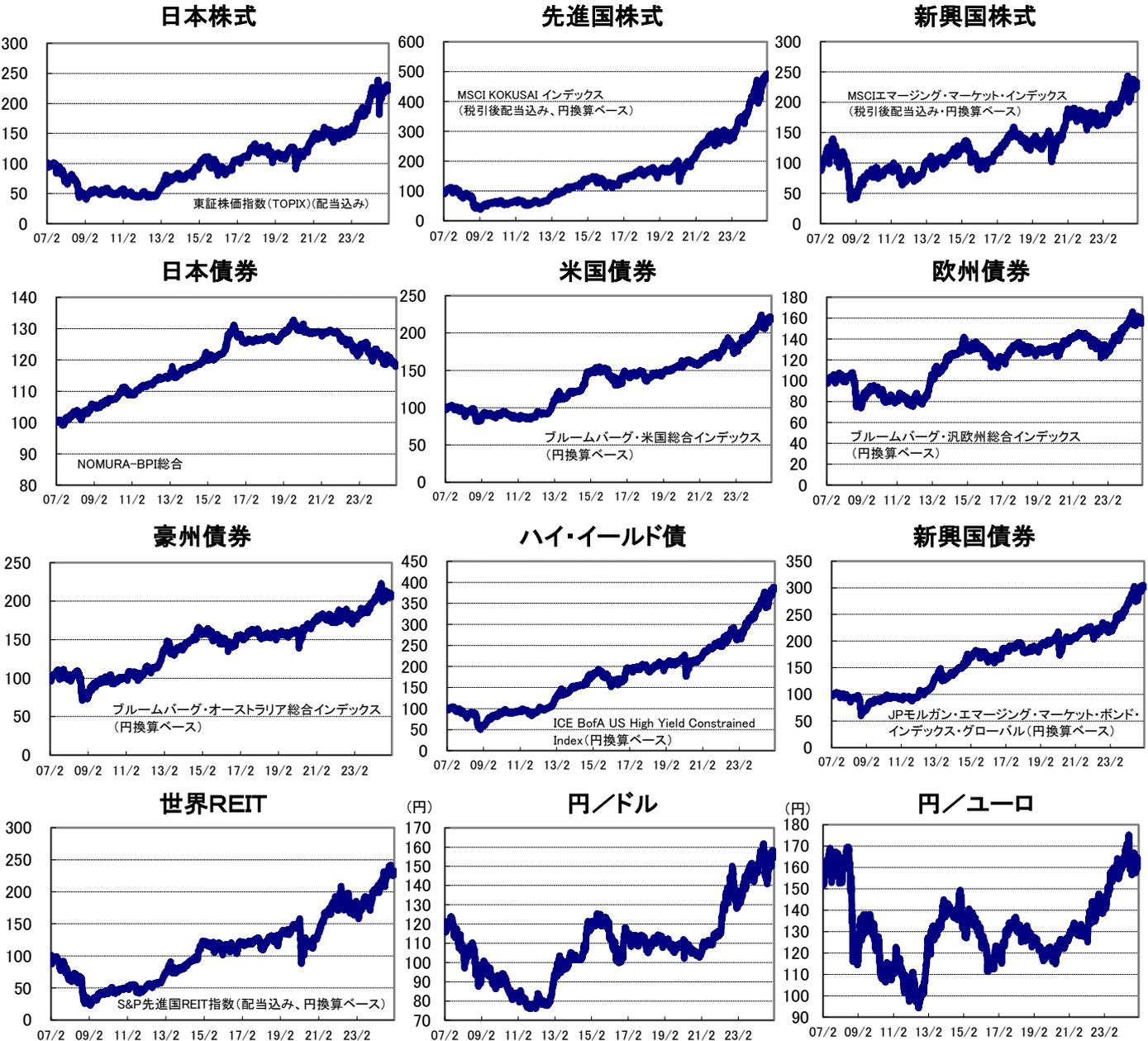
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



各市場の動向グラフ



(注)各市場の動向グラフは、ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせるため、国内市場についてはファンド設定日の1営業日前、海外市場についてはファンド設定日の2営業日前を100として、それぞれの値動きを反映させて指数化しています。

- 配当込みTOPIX (東証株価指数(TOPIX) (配当込み))の指数値及び東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX) (配当込み)に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX) (配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- MSCI KOKUSAI インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI総合の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ブルームバーグ・ファイナンス・エルビーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)は、野村アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、ノムラ・グローバル・オールスターズを承認し、承認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグ・米国総合インデックス、ブルームバーグ・汎欧州総合インデックス、ブルームバーグ・オーストラリア総合インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エルビーの商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社に對してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグ・米国総合インデックス、ブルームバーグ・汎欧州総合インデックス、ブルームバーグ・オーストラリア総合インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。
- ICE BofA US High Yield Constrained Index SM/®は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
- JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index (EMBI Global))は、JP Morgan Securities LLCが公表している、エマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- S&P先進国REIT指数はスタンダード・&・プアーズファイナンシャル・サービスズ・エル・エル・シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード・&・プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関しかなる意思表明等を行なうものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

1月の市場動向

【株式・REIT】

○日本株式:

月前半、米国の利下げペース鈍化観測による米株安や、トランプ米新政権による関税を巡る不確実性に対する懸念などから下落しました。月後半は、米中対立激化への懸念が後退したことや、国内企業の2024年10-12月期決算が良好な滑り出しとなったことなどから反発し、月間ではほぼ変わらずとなりました。

○先進国株式:

上旬、ユーロ圏の堅調な経済指標は下支え要因となりましたが、堅調な経済指標を受けて米国のインフレ懸念が高まったことなどから下落しました。中旬以降は、米国や英国のインフレ懸念が後退したことや、トランプ米大統領が就任初日の対中追加関税の発動を見送ったことが好感されたことなどから上昇し、月間では値上がりとなりました。

○新興国株式:

上旬、米国の利下げペース鈍化観測による米株安や、トランプ米新政権による関税を巡る不確実性に対する懸念などから下落しました。中旬以降は、10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率などの中国の主要な経済指標が市場予想を上回ったことや、米中対立激化への懸念が後退したことなどを背景に上昇し、月間では値上がりとなりました。

○世界REIT:

12月の米コアCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回り米長期金利が低下したことなどを背景に、月間では値上がりとなりました。

【高利回り債券】

○ハイ・イールド債:

米金利の上昇を受けて下落する場面もありましたが、12月のISM製造業景況指数が市場予想を上回り、米景気の底堅さが確認されたことや、12月の米コアCPIが市場予想を下回り、米国のインフレ懸念が後退したことなどを背景に堅調に推移し、月間で値上がりとなりました。

○新興国債券:

上旬、インフレ懸念の高まりを受けた米金利の上昇や、トランプ米新政権による関税を巡る不確実性に対する懸念などから下落しました。中旬以降は、12月の米コアCPIが市場予想を下回りインフレ懸念が後退したことや、米中対立激化への懸念が後退したことなどを背景に上昇し、月間では値上がりとなりました。

【高格付債券】

○日本債券:

日銀が金融政策決定会合で追加利上げを決定したことなどから軟調に推移し、月間で値下がりとなりました。

○米国債券:

上旬、12月のISM非製造業景況指数や雇用統計が堅調な結果となり、米景気の底堅さが確認されたことから下落しました。中旬以降は、12月のコアCPIが市場予想を下回りインフレ懸念が後退したことや、中国企業が開発した低コストの高性能AIが米国のAI産業の脅威になるとの懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから上昇し、月間では値上がりとなりました。

○欧州債券:

上旬、12月の独CPI速報値が市場予想を上回ったことや、ユーロ圏の堅調な経済指標を受けて域内の景気の底打ちが意識されたことなどを背景に下落しました。中旬には、12月の英CPIが市場予想を下回りインフレ懸念が後退したことなどから上昇する場面もありましたが、月間ではほぼ変わらずとなりました。

○豪州債券:

上旬、米欧金利の上昇に連れて下落しました。中旬以降は、米欧金利が低下したことや、10-12月期のCPIでコアインフレ率が大幅に減速し、RBA(豪州準備銀行)による利下げ期待が高まったことなどを背景に上昇し、月間では値上がりとなりました。

【為替】

○日銀が金融政策決定会合で追加利上げを決定し、日本と海外の金利差が縮小するとの見方が強まったことから円高となり、月間で米ドル、ユーロ、豪ドルとも円に対して下落しました。

1月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 各資産へ概ね均等(各10%程度)に分散投資を行ない、投資信託証券のフルインベストメント(高位組入)を維持するよう努めました。
- 基準価額の要因では、欧州債や新興国株式などが値下がり要因となりました。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



【日本株式】ファンド名:ノムラ・ジャパン・オープン マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
1.0%	7.0%	6.6%	23.6%	186.6%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

業種	純資産比
1 電気機器	13.8%
2 非鉄金属	10.5%
3 情報・通信業	8.2%
4 銀行業	7.3%
5 建設業	5.5%

組入上位5銘柄

銘柄	純資産比
1 古河電気工業	5.3%
2 ファナック	4.0%
3 富士通	3.9%
4 フジクラ	3.8%
5 三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.7%

国・地域別比率

国・地域	純資産比
1 日本	97.3%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

【先進国株式】ファンド名:グローバル・エクイティ(除く日本)・マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント (GQG・パートナーズ・エルエルシー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
1.4%	3.0%	8.9%	24.3%	215.2%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2020年4月15日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

業種	純資産比
1 インタラクティブ・メディアおよびサービス	10.9%
2 ソフトウェア	9.8%
3 医薬品	9.4%
4 石油・ガス・消耗燃料	7.4%
5 銀行	7.1%

組入上位5銘柄

銘柄	純資産比
1 META PLATFORMS INC-CLASS A	7.4%
2 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5.0%
3 APPLOVIN CORP-CLASS A	4.8%
4 ELI LILLY & CO.	4.6%
5 NOVO NORDISK A/S-B	3.8%

国・地域別比率

国・地域	純資産比
1 アメリカ	70.2%
2 インド	5.7%
3 デンマーク	3.8%
4 フランス	3.2%
5 ブラジル	2.5%

【新興国株式】ファンド名:ノムラアカディアン新興国株ファンド マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント (アカディアン・アセット・マネジメント・エルエルシー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-2.1%	0.5%	4.3%	23.5%	108.9%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2017年10月11日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5業種

業種	純資産比
1 半導体・半導体製造装置	16.3%
2 銀行	15.9%
3 インタラクティブ・メディアおよびサービス	8.0%
4 情報技術サービス	6.9%
5 石油・ガス・消耗燃料	6.0%

組入上位5銘柄

銘柄	純資産比
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR	9.2%
2 TENCENT HOLDINGS LTD	4.3%
3 CHINA CONSTRUCTION BANK-H	3.3%
4 MEDIATEK INC	2.5%
5 HON HAI PRECISION INDUSTRY	2.3%

国・地域別比率

国・地域	純資産比
1 台湾	24.9%
2 インド	14.5%
3 中国	13.5%
4 ケイマン諸島(英領)	12.2%
5 韓国	8.3%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



【世界REIT】ファンド名:ノムラ・ワールドREITマザーファンド /

委託会社:野村アセットマネジメント
(コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.6%	-4.8%	3.3%	16.5%	137.1%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

組入上位5セクター

セクター	純資産比
1 賃貸住宅	15.9%
2 医療・介護施設	14.5%
3 産業用施設	14.1%
4 リテール	12.8%
5 データセンター	12.2%

組入上位5銘柄

銘柄	純資産比
1 WELLTOWER INC	9.5%
2 PROLOGIS INC	7.0%
3 DIGITAL REALTY TRUST INC	6.3%
4 EQUINIX INC	5.4%
5 SIMON PROPERTY GROUP INC	5.3%

国・地域別比率

国・地域	純資産比
1 アメリカ	73.3%
2 オーストラリア	6.8%
3 日本	5.5%
4 シンガポール	2.7%
5 イギリス	2.6%

【ハイ・イールド債券】ファンド名:野村米国好利回り社債投信 マザーファンド /

委託会社:野村アセットマネジメント
(ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.8%	2.7%	6.5%	14.8%	349.0%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

格付	純資産比
1 B	39.3%
2 BB	36.1%
3 CCC	16.1%
4 BBB	2.5%
5 C以下	0.7%

通貨別比率

通貨	純資産比
1 アメリカ・ドル	96.8%
2 -	-
3 -	-
4 -	-
5 -	-

【新興国債券】ファンド名:野村エマージング債券マザーファンド /

委託会社:野村アセットマネジメント
(ウエイリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.4%	2.3%	6.3%	15.2%	237.7%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2011年4月8日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

格付	純資産比
1 BB	29.7%
2 BBB	27.0%
3 B	13.0%
4 CCC	13.0%
5 AA	4.3%

通貨別比率

通貨	純資産比
1 アメリカ・ドル	89.9%
2 ユーロ	8.4%
3 南アフリカ・ランド	1.1%
4 ソル	0.5%
5 メキシコ・ペソ	0.5%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



【日本債券】ファンド名:ノムラ日本債券オープン マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.7%	-1.3%	-0.3%	-2.5%	22.3%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	AAA	69.6%
2	A	18.0%
3	AA	9.2%
4	BBB	1.7%
5	BB	-

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	日本・円	99.1%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

**【米国債券】ファンド名:ノムラブラックロック米国債券オープン マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント
(ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク)**

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-1.4%	0.6%	2.2%	7.8%	138.8%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	AAA	69.2%
2	BBB	15.6%
3	A	6.9%
4	AA	4.7%
5	BB	1.1%

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	アメリカ・ドル	102.5%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

**【欧州債券】ファンド名:ノムラインサイト欧州債券 マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント
(インサイト・インベストメント・マネジメント(グローバル)リミテッド)**

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-2.8%	-3.3%	-1.1%	4.1%	129.3%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの投資対象として届出された日(2008年10月17日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	BBB	21.6%
2	AAA	18.3%
3	AA	16.8%
4	A	10.7%
5	BB	1.8%

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	ユーロ	89.6%
2	イギリス・ポンド	14.8%
3	スウェーデン・クローナ	0.7%
4	デンマーク・クローネ	0.5%
5	ポーランド・ズロチ	0.4%

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

【豪州債券】ファンド名:野村豪州債券ファンド マザーファンド / 委託会社:野村アセットマネジメント

基準価額*の推移



基準価額の騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-2.2%	-3.1%	-1.7%	2.5%	105.2%

設定来の騰落率は、ノムラ・グローバル・オールスターズの設定日の1営業日前(2007年2月20日)の基準価額との比較で計算しています。

格付別比率

	格付	純資産比
1	AAA	49.5%
2	AA	35.9%
3	A	6.8%
4	BBB	5.8%
5	-	-

通貨別比率

	通貨	純資産比
1	オーストラリア・ドル	98.0%
2	-	-
3	-	-
4	-	-
5	-	-

(注)委託会社部分のカッコ内は、運用の委託先を表わします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の着実な成長を目的に運用を行なうことを基本とします。
- 日本、先進国、新興国の各株式、日本、米国、欧州、豪州、新興国の各債券^{※1}、ハイ・イールド債、および世界の不動産投資信託証券^{※2}(REIT)の10の資産(アセットクラス)を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とします。
※1 国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。
 ※2 金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。)とします。
- 10のアセットクラスを考慮して選択した、複数の投資信託証券にバランスよく分散投資します。
◆ 投資信託証券への投資にあたっては、概ね均等(各10%程度を基本投資割合とします。)に行ない、インカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターンを追求を目指して運用を行ないます。
 ◆ アセットクラス毎に、運用において優れていると判断した投資信託証券を1つもしくは少数選定し、分散投資を行ないます。
 ◆ 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシヤリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)からの助言を受けます。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは、複数の投資信託証券(ファンド)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の20日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。
* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券およびREIT等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落、当該REITの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券の発行体および当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
 したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2007年2月21日設定)
- 決算日および収益分配 年6回の決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の20日、休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
 自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.2%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認下さい。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.595%(税抜年1.45%)以内(2024年10月17日現在年1.595%(税抜年1.45%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが投資対象とする投資信託証券については、2024年10月17日現在、信託報酬は収受しておりませんので、ファンドにおける実質的な信託報酬も上記と同じです。 また、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
 ☆サポートダイヤル☆ 0120-753104 (フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
 ☆インターネットホームページ☆ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]
 <受託会社>野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



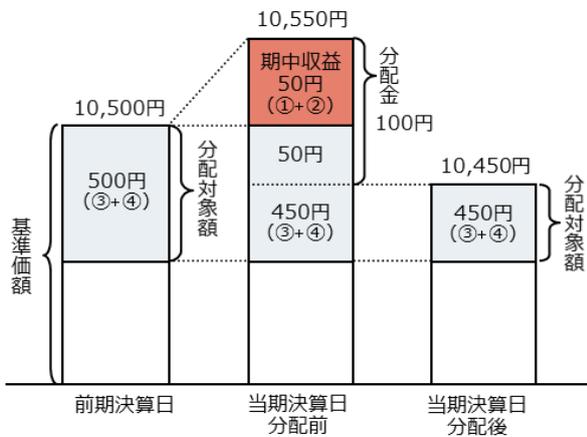
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

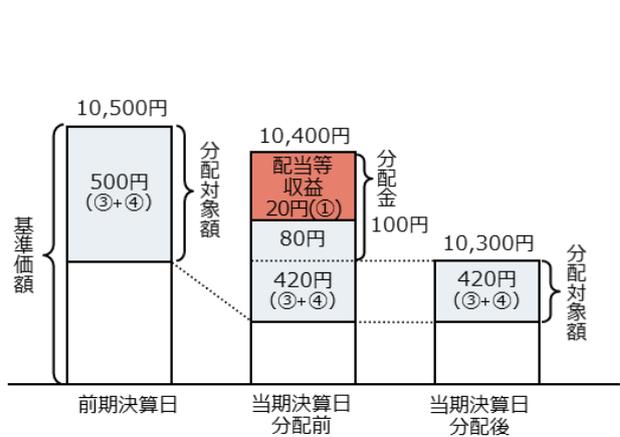
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



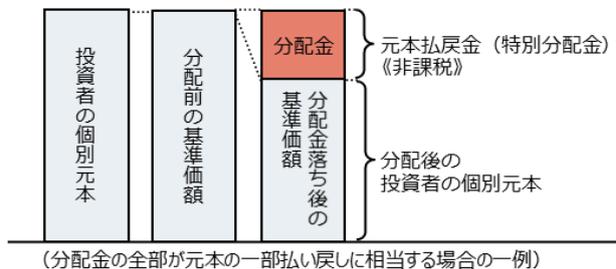
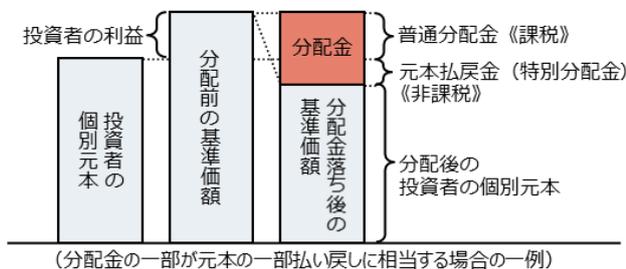
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ノムラ・グローバル・オールスターズ（愛称:GA10）

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

ノムラ・グローバル・オールスターズ（愛称:GA10）

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI新生銀行 <small>(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)</small>	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。